

「Predictive Review (仮)」日本特許査定のお知らせ

～スコアの即時更新により、効率的で精度の高い調査が可能に～

米ナスダックと東証マザーズに上場し、人工知能を駆使したビッグデータ解析事業を手がけるUBIC（本社：東京都港区、代表取締役社長・守本正宏）は、「Predictive Review (仮)」に関連する特許査定謄本を日本国特許庁より受領いたしました。このたび、登録のための手続きが完了いたしましたので、お知らせいたします。

Predictive Reviewは、これまで手動で行っていたレビュー結果の反映によるスコアの更新を、レビュー作業と同時に行うことで、調査の効率性、精度を高めます。

出願番号：特願 2012-225103 ※登録番号未付与

特許出願日：平成 24 年（2012 年）10 月 10 日

当社が提供するPredictive Coding®は、エキスパートの判断を人工知能が学習し、その学習結果に基づいて人工知能が調査対象のデータの仕分けを行います。そして、重要と判断したデータにはより高いスコアを、そうでないものには低いスコアを付与することで大量データの序列化を行います。その上で、例えばスコアの高いデータから人間がレビューを行うことで、従来手法にくらべ、非常に効率的な調査が可能になります。

今回特許を取得したPredictive Reviewでは、これまで手動で行っていたレビュー結果の反映（人工知能の再学習）によるスコアの更新を、レビューがレビュー結果を新しく人工知能に与えるたびに、バックグラウンドで行います。

これにより、スコア更新の自動化という業務フローの改善に加え、人工知能の学習精度向上がリアルタイムに行われることで、未レビューデータのスコアも同時に更新され、重要度の高いデータが次々により上位に表示されるようになります。レビューはより効率的に、精度の高い調査を行うことが可能になります。

この機能は、企業が保有するビッグデータ解析のためのプラットフォーム「Lit i View（リット・アイ・ビュー）」の各製品に搭載されます。



当社は、人工知能応用技術の研究開発・知的財産獲得をさらに推進することにより、医療・ヘルスケア、知的財産評価支援などをはじめとした、多様なデータ解析ソリューションへの展開を目指しており、その実現によって、よりよい未来の創造に邁進してまいります。なお、本件における通期業績に与える影響は軽微です。

※特許査定…特許庁審査官による審査の結果、発明に対して特許権付与が承認されることをいいます。特許査定後、出願人が登録料を納付することにより、特許発明が登録原簿に登録され、特許権が発生するとともに、登録番号が付与されます。

※Lit i View は当社の登録商標です。

【UBICについて】 URL: <http://www.ubic.co.jp/>

株式会社UBICは、独自開発の人工知能「バーチャルデータサイエンティスト（VDS）」により、ビッグデータなどの情報解析を支援するデータ解析企業です。国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行うeディスカバリ（電子証拠開示）や、コンピュータフォレンジック調査を支援する企業として2003年に創業。自社開発のデータ解析プラットフォーム「Lit i View®（リット・アイ・ビュー）」、アジア言語に対応した「Predictive Coding®（プレディクティブ・コーディング）」技術などを駆使し、企業に訴訟対策支援を提供しています。訴訟対策支援で培った人工知能「VDS」は、専門家の経験や勘などの「暗黙知」を学び、人の思考の解析から、未来の行動の予測を実現、最近では医療やビジネスインテリジェンス、マーケティングなどの領域にVDSを活用し、事業の拡大を進めています。2003年8月8日設立。2007年6月26日東証マザーズ上場。2013年5月16日NASDAQ上場。資本金1,688,433千円（2015年3月31日現在）。

〈本件に関するお問合せ先〉

株式会社UBIC 広報 池内・小越

TEL: 03-5463-6380 FAX: 03-5463-6345